

PM2.5の長期低下と、直近の小さな変動

結果

2024年度のPM2.5年平均値は一般環境大気測定局で8.4 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、自動車排出ガス測定局で8.9 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ だった。2014年度比では42.9%、42.6%低い。一方、2021年度比では両局種とも0.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 高い。長い期間で低下していても、直近まで同じ速さで下がり続けているわけではない。

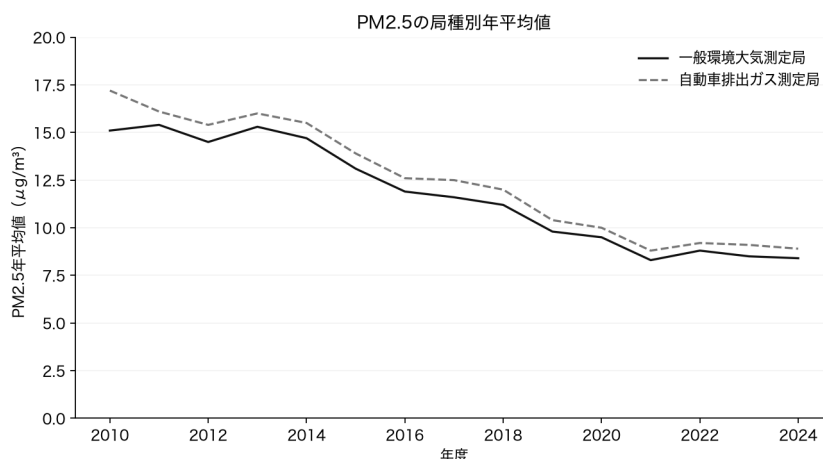
比較の注意点

使用表は2010～2024年度の公表集計。一般環境大気測定局の有効局数は34局から874局に変化しており、同じ地点だけを追跡した値ではない。局種間の差を自動車の排出だけの影響と解釈しない。

2024年度の基準達成率は一般環境大気測定局99.54%、自動車排出ガス測定局100%。分母は有効測定局であり、健康上安全な人口の割合ではない。年平均値から個人の曝露や健康影響は分からない。

施設で応用するなら

機器番号、設置場所、校正履歴、測定時間、欠測を保存する。同じ地点だけの集計と全地点の集計を分ければ、場所の入替えによる差を確認できる。



局種別の年平均値

出典：環境省令和6年度大気汚染状況表2-1を加工。2026年9月7日確認。環境省の作成・承認ではない。